

## Global and Innovation Gateway for All

## GIGA 通信

-児童生徒 1 人 1 台端末の日常的な活用に向けて-



発行元

佐野市教育センター

佐野市上羽田町 1134 番地 1

電話 20-3108

20-3048(相談専用)

C4th「連絡・掲示板」でお知らせしましたように、佐野市教育委員会では、「1人1台端末の効果的な活用に向けた指針」を策定しました。指針には、「主体的・対話的で深い学びの実現」という目的に向けた本市の基本的な考えと方向性が書かれています。先生方には、学期末の準備でお忙しい時期かと存じますが、本指針をご一読の上、ご活用いただけますようお願いいたします。

さて、先日実施した「1人1台端末を活用した夏休みの課題に関する調査」と「児童生徒に対するオンライン学習等の実施に関する調査」では、お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。調査を通して、1人1台端末が、各学校における児童生徒の学びの保障や夏期休業中の学習状況・生活の様子把握等に、有効に活用されていることがわかりました。各調査結果の詳細につきましては、後日改めてお知らせします。

さて、今回の「GIGA 通信」では、不登校や新型コロナウイルス感染症などの病気療養等の理由で登校することができない児童生徒へのオンライン学習の実践例を紹介いたします。

## 『1人1台端末を活用した学びの保障』（北中）

北中では、不登校や新型コロナウイルス感染症の影響による出席停止等の生徒に対する学びの保障のため、端末が積極的に活用されています。管理職や情報教育担当の先生方を中心とした校内体制が築かれ、先生方の工夫によって、端末が「生徒と学校をつなぐツール」となり、端末を利用したオンライン授業が、生徒にとっても教職員にとっても日常のものになっています。

## ◇C4thの「校内掲示板」で、オンライン授業を行う生徒の情報を共有

生徒が陽性者や濃厚接触者となった場合、北中では、担任が保護者にオンライン授業の希望の有無を確認しています。希望があった場合は、その生徒の Chromebook を家庭に渡し、5教科を中心とした授業配信を行っているそうです。

生徒からオンライン授業の希望があった場合、担

任の先生はC4thの「校内掲示板」に、①該当生徒氏名、②在籍学級、③出席停止等の期間を書き込み、全教職員でこのことを共有します。この工夫により、教科担任や学年担当職員、さわやか教育指導員が連携して、希望する生徒にオンライン授業を確実に行うことができます。

## ◇無理なくオンライン授業を行うための工夫

授業配信には、教師用の Chromebook を使用しています。配信用の Chromebook は、黒板が映るように、教室前方の机の上に置いています。先生の説明の音がしっかり届いているか、板書全体が画面に映っているかなど、受信する生徒に配慮し、工夫して端末を活用していました。



中学校では授業ごとに教師が替わるため、朝、配信用に設置した Chromebook は、一日中その学級で使います。そうすることで、授業ごとに端末を入れ替える必要がなくなります。各教師用 Surface は通常どおり授業支援アプリや教材提示のために使用でき、無理なく授業配信を行えているそうです。



Meet の接続も、授業ごとに切ったりつなぎ直したりすることはせず、基本的に接続したままにしています。配信準備や授業ごとの接続確認の手間が省けるだけでなく、休み時間には Meet を通して生徒間のやり取りが生まれるというメリットもあるそうです。